



ライセンスとサブスクリプションに関するドキュメント

Licenses and subscriptions

NetApp
October 06, 2025

目次

ライセンスとサブスクリプションに関するドキュメント	1
リリース ノート	2
新着情報	2
2025年10月6日	2
2025年3月10日	2
2025年2月10日	2
2024年3月5日	3
30 2023年7月	3
2023年5月7日	3
2023年4月3日	4
2022年11月6日	4
2022年9月18日	4
31 2022年7月	4
3 2022年7月	5
2022年2月27日	5
2022年1月2日	5
始めましょう	6
ライセンスとサブスクリプションについて学ぶ	6
コンソールでのライセンスとサブスクリプションの表示方法	6
サポートされているサービス	6
ライセンスとサブスクリプションを使用する	7
ダッシュボードの概要を使用する	7
ダッシュボードの概要を使用する	7
ライセンスを管理します。	8
NetAppデータサービスのライセンスを管理する	8
Cloud Volumes ONTAPのライセンスを管理する	9
プライベートオファースを管理する	9
NetAppコンソールの AWS Marketplace プライベート オファースを承認して設定する	9
NetAppコンソールの Azure プライベート オファースを承認してアクティブ化する	12
NetAppコンソールの Google Cloud プライベート オファースを承認して構成する	15
PAYGOサブスクリプションと契約を管理する	17
新しいマーケットプレイスサブスクリプションを追加する	17
サブスクリプションを表示する	18
サブスクリプションの名前を変更する	19
プロバイダー資格情報を使用してサブスクリプションを構成する	19
サブスクリプションをコンソール組織に関連付ける	20
サブスクリプションに関連付けられた資格情報を表示する	20
Keystoneサブスクリプションを管理する	22
アカウントを承認する	22

サブスクリプションをリンクする	22
コミットされた容量の増減を要求する	22
使用状況を監視する	23
サブスクリプションのリンクを解除する	23
知識とサポート	23
サポートに登録する	23
ヘルプを受ける	27
法律上の表示	31
著作権	31
商標	31
特許	31
プライバシー ポリシー	31
オープンソース	31

ライセンスとサブスクリプションに関するドキュメント

リリース ノート

新着情報

NetAppコンソールのライセンスとサブスクリプションの新機能について説明します。

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリースノート](#)"。

2025年3月10日

サブスクリプションを削除する機能

サブスクリプションを解除した場合は、デジタルウォレットからサブスクリプションを削除できるようになりました。

マーケットプレイスサブスクリプションの使用済み容量を表示する

PAYGO サブスクリプションを表示するときに、サブスクリプションの消費容量を表示できるようになりました。

2025年2月10日

BlueXP digital walletは使いやすさを考慮して再設計され、追加のサブスクリプションとライセンスの管理機能を提供するようになりました。

新しい概要ダッシュボード

デジタルウォレットのホームページには、NetAppライセンスとMarketplaceサブスクリプションの更新されたダッシュボードがあり、特定のサービス、ライセンスの種類、必要なアクションをドリルダウンできます。

資格情報へのサブスクリプションの構成

BlueXP digital walletでは、プロバイダー資格情報へのサブスクリプションを設定できるようになりました。通常、これはマーケットプレイスのサブスクリプションまたは年間契約に初めて加入するときに行います。以前は、サブスクリプションの資格情報の変更は、「資格情報」ページでのみ実行できました。

サブスクリプションを組織に関連付ける

サブスクリプションが関連付けられている組織をデジタルウォレットから直接更新できるようになりました。

Cloud Volume ONTAPライセンスの管理

Cloud Volumes ONTAPライセンスは、ホームページまたは 直接ライセンス タブから管理できるようになりました。サブスクリプション情報を表示するには、「マーケットプレイス サブスクリプション」タブを使用します。

2024年3月5日

BlueXP disaster recovery

BlueXP digital walletでは、BlueXP disaster recoveryのライセンスを管理できるようになりました。ライセンスを追加したり、ライセンスを更新したり、ライセンス容量の詳細を表示したりできます。

["BlueXPデータサービスのライセンスを管理する方法を学びます"](#)

30 2023年7月

使用状況レポートの機能強化

Cloud Volumes ONTAP使用状況レポートにいくつかの改善が加えられました。

- 列名に TiB 単位が含まれるようになりました。
- シリアル番号用の新しい *node(s)* フィールドが追加されました。
- ストレージ VM 使用状況レポートに新しい ワークロード タイプ 列が追加されました。
- ストレージ VM およびボリュームの使用状況レポートに作業環境名が含まれるようになりました。
- ボリューム タイプ *file* のラベルが *Primary* (読み取り/書き込み) に変更されました。
- ボリューム タイプ *secondary* のラベルが *Secondary (DP)* に変更されました。

使用状況レポートの詳細については、以下を参照してください。 ["使用状況レポートをダウンロードする"](#)。

2023年5月7日

Google Cloud プライベート オファー

BlueXP digital walletでは、プライベート オファーに関連付けられている Google Cloud Marketplace サブスクリプションが識別され、サブスクリプションの終了日と期間が表示されるようになりました。この機能強化により、プライベート オファーを正常に承諾したことを確認し、その条件を検証できるようになります。

充電使用量の内訳

容量ベースのライセンスをサブスクライブすると、何に対して課金されるのかがわかるようになりました。以下の種類の使用状況レポートは、BlueXP digital walletからダウンロードできます。使用状況レポートには、サブスクリプションの容量の詳細が提供され、Cloud Volumes ONTAPサブスクリプション内のリソースに対してどのように課金されるかが示されます。ダウンロード可能なレポートは他のユーザーと簡単に共有できます。

- Cloud Volumes ONTAPパッケージの使用
- 高レベルの使用法

- ストレージVMの使用状況
- ボリューム使用量

使用状況レポートの詳細については、以下を参照してください。 ["使用状況レポートをダウンロードする"](#)。

2023年4月3日

メール通知

BlueXP digital walletで電子メール通知がサポートされるようになりました。

通知設定を構成すると、BYOL ライセンスの有効期限が近づいたとき (「警告」通知)、またはすでに有効期限が切れたとき (「エラー」通知) に電子メール通知を受け取ることができます。

["メール通知の設定方法を学ぶ"](#)

マーケットプレイスサブスクリプションのライセンス容量

Cloud Volumes ONTAPの容量ベースのライセンスを表示すると、BlueXP digital walletに、マーケットプレイスのプライベート オファーで購入したライセンス容量が表示されるようになりました。

["アカウントで消費された容量を確認する方法を学びます"](#)。

2022年11月6日

サブスクリプションと年間契約

BlueXPの PAYGO サブスクリプションと年間契約を、BlueXP digital walletから表示および管理できるようになりました。

["サブスクリプションの管理方法を学ぶ"](#)。

2022年9月18日

最適化されたI/OとWORM容量

BlueXP digital walletには、最適化された I/O ライセンス パッケージの概要と、アカウント全体のCloud Volumes ONTAPシステムにプロビジョニングされた WORM 容量が表示されるようになりました。

これらの詳細は、料金がどのように請求されるか、追加の容量を購入する必要があるかどうかをよりよく理解するのに役立ちます。

["アカウントで消費された容量を確認する方法を学びます"](#)。

31 2022年7月

充電方法を変更する

容量ベースのライセンスを使用するCloud Volumes ONTAPシステムの課金方法を変更できるようになりました。たとえば、Essentials パッケージを使用してCloud Volumes ONTAPシステムを導入した場合、ビジネス

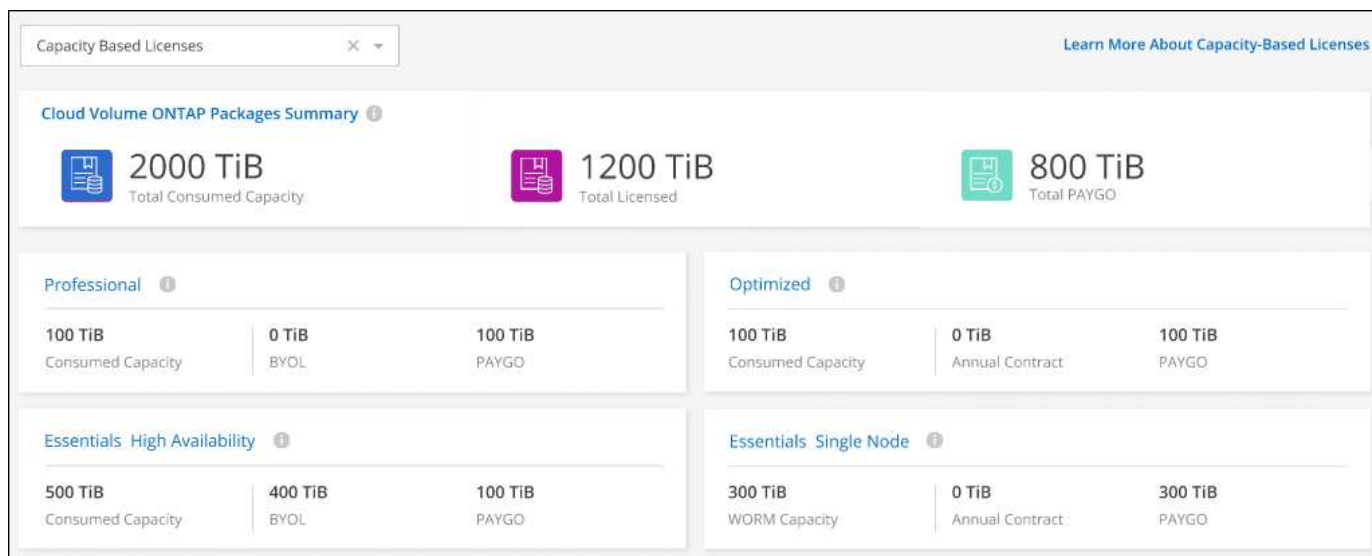
ニーズの変化に応じて Professional パッケージに変更できます。

["充電方法の変更方法を学ぶ"](#)。

3 2022年7月

消費容量

アカウント内の消費済み容量の合計とライセンス パッケージ別の消費済み容量が表示されるようになりました。これにより、料金がどのように請求されるか、追加の容量を購入する必要があるかどうかを把握できます。



2022年2月27日

オンプレミスのONTAPクラスタのライセンス

オンプレミスのONTAPクラスタのインベントリと、そのハードウェアおよびサービス契約の有効期限を表示できるようになりました。クラスタに関する追加の詳細も利用できます。

["オンプレミスのONTAPクラスタのライセンスを管理する方法を学びます"](#)。

2022年1月2日

ライセンス条件は自動的に更新されます

ライセンスの容量または期間を変更すると、ライセンス条件が自動的に更新されるようになりました。ライセンスを自分で手動で更新する必要はありません。

自動ライセンス更新は、すべてのタイプのCloud Volumes ONTAPライセンスとデータ サービスのすべてのライセンスで機能します。

始めましょう

ライセンスとサブスクリプションについて学ぶ

NetAppから購入したライセンス (BYOL)、 NetAppデータ サービスのマーケットプレイス サブスクリプション (Cloud Volumes ONTAPを含む)、 およびNetApp KeystoneサブスクリプションをNetAppコンソールで管理および監視できます。

コンソールでのライセンスとサブスクリプションの表示方法

コンソール アカウントがNetAppサポート サイト (NSS) アカウントにも関連付けられている場合、ライセンスとサブスクリプションの情報がコンソールに自動的に表示されます。コンソール アカウントが NSS アカウントに関連付けられていない場合は、ライセンスを手動で追加する必要があります。ライセンスを手動で追加すると、使用量、容量、その他の詳細は自動的に更新されません。



サブスクリプション情報を表示するには、コンソール エージェントを展開する必要があります。 Cloud Volumes ONTAPのノード ライセンスを表示するにはエージェントも必要です。

自動ライセンス検出

コンソールはNetAppライセンス サービスに自動的にクエリを実行し、 NetAppサポート サイト アカウントに関連付けられているライセンスの詳細を取得します。クエリが成功すると、コンソールはライセンスを自動的に追加します。

手動ライセンス追加

コンソールがライセンスを自動的に追加できない場合は、手動で追加する必要があります。これは、コンソール アカウントがNetAppサポート サイト アカウントに関連付けられていない場合に発生します。

NetApp の営業担当者からライセンスを購入すると、 NetAppシリアル番号とライセンスの詳細が記載されたメールが送信されます。そのシリアル番号を使用して、コンソールでライセンスを追加または更新します。

["NetAppサポートサイトアカウントをコンソールの資格情報に追加する方法を学びます"](#)。

サポートされているサービス

コンソールでは、次のサービスのライセンスとサブスクリプションを管理できます。

- ["バックアップとリカバリ"](#)
- ["Cloud Volumes ONTAP"](#)
- ["ディザスタ リカバリ"](#)(BYOLのみ)
- ["ランサムウェア耐性"](#)
- ["クラウド階層化"](#)

ライセンスとサブスクリプションを使用する

ダッシュボードの概要を使用する

ダッシュボードの概要を使用する

コンソールの*概要*ダッシュボードを使用して、ライセンスとサブスクリプションの健全性を監視し、サブスクリプションの有効期限や容量制限に達したときにコストを管理してサービスを維持できるようにします。

各データ サービス (Cloud Volumes ONTAPを含む) に関する特定のライセンスとサブスクリプションの情報を表示し、それぞれの詳細にドリルダウンできます。

また、容量制限や有効期限が近づいていることも通知され、対応が求められます。

特定のデータ サービスの詳細を表示する

*概要*ダッシュボードでは、次のデータ サービスの詳細を表示できます。

- Cloud Volumes ONTAP
- ディザスタ リカバリ
- ランサムウェア耐性
- バックアップとリカバリ
- クラウド階層化

たとえば、Cloud Volumes ONTAPリソースの管理を担当する管理者は、各ライセンスまたはサブスクリプションの現在の容量を表示できるため、自分の権限の範囲内のリソースを集中的に把握できます。



ダッシュボードからライセンスを更新したり削除したりすることはできますが、新しいライセンスやサブスクリプションを追加することはできません。

["ライセンスの管理について詳しくはこちら"](#)。 ["サブスクリプションの管理について詳しくはこちら"](#)。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *概要*を選択します。
3. 各データ サービス (Cloud Volumes ONTAPを含む) の [表示] を選択して、詳細を表示し、ライセンスとサブスクリプションを管理します。

各タイルには、容量の概要がグラフィカルに表示されます。詳細ページを表示して、その容量の支払い方法を確認し、管理することができます。

4. ライセンス または サブスクリプション タブを選択します。
5. 列フィルターとフィルターする値を選択して、テーブルをフィルターします。たとえば、[サブスクリプション] タブでは、[タイプ] 列を年間契約またはサブスクリプションでフィルタリングできます。

6. 表に表示される列をカスタマイズします。*列*アイコンを選択して表示または非表示にする列を指定することにより、テーブルに列を追加したり削除したりできます。
7. 任意の行を展開すると、サブスクリプションまたはライセンスに含まれる内容、購入した容量、条件の詳細が表示されます。
8. アクション メニューを使用して、ライセンスの更新やサブスクリプションの別の組織への関連付けなど、特定のライセンスまたはサブスクリプションを管理します。

特定のサービスの*概要*ページから新しいライセンスまたはサブスクリプションを追加することはできません。ライセンスまたはサブスクリプションは、それぞれ 直接ライセンス タブまたは マーケットプレイス サブスクリプション タブからのみ追加できます。

["ライセンスの管理について詳しくはこちらをご覧ください。"](#) ["サブスクリプションの管理について詳しくはこちらをご覧ください。"](#)

ライセンスまたはサブスクリプションの問題を解決する

解決する必要があるライセンスとサブスクリプションの問題を表示できます。問題には、期限切れまたは容量に達したライセンスとサブスクリプションが含まれます。

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *概要*を選択します。
3. 調整が必要な問題を表示するには、[アクションが必要] タイルで [解決] を選択します。解決 が表示されない場合は、現時点で対処が必要な問題はありません。
4. アクションが必要 ページで、ライセンス タブまたは サブスクリプション タブを選択します。
5. アクション メニューを使用して問題を解決します。

["ライセンスの管理について詳しくはこちら"](#)。 ["サブスクリプションの管理について詳しくはこちら"](#)。

ライセンスを管理します。

NetAppデータサービスのライセンスを管理する

Cloud Volumes ONTAPなどのNetAppデータ サービスで使用するためにNetAppから直接購入したライセンス (BYOL) を管理できます。使用済みのライセンス容量、残りの空き容量を確認でき、容量制限または有効期限に達したときに通知が表示されます。



直接ライセンス ページにはすべてのライセンスがリストされます。特定のデータ サービスのライセンスの詳細が必要な場合は、[概要] ダッシュボードのデータ サービス タイルを使用します。 ["概要ダッシュボードの詳細"](#)。

このページの説明には、各サービスに適用される情報が記載されています。これらのサービスのライセンスに関する詳細については、次のページを参照してください。

- ["BlueXP backup and recoveryのライセンスを設定する"](#)
- ["BlueXP disaster recoveryのライセンスを設定する"](#)

- ["BlueXP ransomware protectionのライセンスを設定する"](#)
- ["BlueXP tieringのライセンスを設定する"](#)
- ["Cloud Volumes ONTAPのライセンスを設定する"](#)

ライセンスファイルを取得する

<stdin> 内の未解決のディレクティブ - include::_include/task-obtain-license.adoc[]

ライセンスの追加

<stdin> 内の未解決のディレクティブ - include::_include/task-add-license.adoc[]

ライセンスを更新する

<stdin> 内の未解決のディレクティブ - include::_include/task-update-license.adoc[]

ライセンスステータスの表示

<stdin> 内の未解決のディレクティブ - include::_include/task-view-license-status.adoc[]

Cloud Volumes ONTAPのライセンスを管理する

容量ベースの **Cloud Volume ONTAP**ライセンスを管理する

<stdin> 内の未解決のディレクティブ -
include::<https://raw.githubusercontent.com/NetAppDocs/console-cloud-volumes-ontap/main/task-manage-capacity-licenses.adoc>[lines=15..-1]

ノードベースのライセンスを管理する

<stdin> 内の未解決のディレクティブ -
include::<https://raw.githubusercontent.com/NetAppDocs/console-cloud-volumes-ontap/main/task-manage-node-licenses.adoc>[lines=15..-1]

プライベートオファーマを管理する

NetAppコンソールの **AWS Marketplace** プライベートオファーマを承認して設定する

AWS コンソールでNetAppコンソールの Marketplace プライベートオファーマを受け入れ、コンソールで AWS 認証情報を設定します。

開始する前に

- NetApp の営業担当者と協力してプライベート オファーマを作成し、アクティベーション リンクを取得します。
- 必要な AWS Marketplace 権限があることを確認します。
 - ["プライベートオファーマの表示と購読"](#)

◦ "購入者の権限の検証"

AWSコンソールでプライベートオファーを承認する

購入を有効にして割引価格を適用するには、コンソールでサブスクリプションの割り当てを完了する必要があります。



プライベートオファーを有効にするには、すべての手順を完了する必要があります。手順を省略すると請求エラーが発生する可能性があります。オファーを複数回承諾して有効化すると、二重に請求されます。

手順

1. NetAppセールス チームからのプライベート オファーのアクティベーション リンクをクリックします。リンクは次のようになります。

<https://aws.amazon.com/marketplace/saas/ordering?productId=aaa&offerId=offer-aaa>

If you did not receive the link, view private offers in the AWS Marketplace console. The following permissions are required:

- AWS 管理ポリシーを使用する: **AWSMarketplaceRead-only**、**AWSMarketplaceManageSubscriptions**、または **AWSMarketplaceFullAccess**
- カスタム IAM ポリシーの使用: `aws-marketplace:ListPrivateListings`、そして `aws-marketplace:ViewSubscriptions`

2. プライベートオファーを表示するために AWS Marketplace にリダイレクトされます。



プライベートオファーは公開リストの上に作成されます。*オファーの選択*ドロップダウンを使用して、公開オファーと非公開オファーを切り替えます。

3. プライベートオファーの詳細を確認し、契約内容と一致していることを確認します。間違っている場合は受け入れないでください。NetAppアカウント チームにお問い合わせください。

プライベートオファーには次の2つの種類があります。



- オンデマンド利用
 - 価格情報
 - 法的用語
- 契約
 - 期間と日付
 - 更新設定
 - 契約オプション
 - 契約合計金額

契約オファーの場合は、合意したユニット数を入力します。Cloud Volumes ONTAPの場合は、サブスクライブする前に正しいライセンスを選択してください。

4. プライベートオファーを承諾するには、次の手順を実行します。
 - a. オンデマンドで使用する場合は、「サブスクライブ」をクリックします。
 - b. 契約オファーの場合は、各サービスのユニット数を入力し、「契約を作成」をクリックします。
5. 承認されると、バナーでサブスクリプションが確認され、登録手順が示されます。
6. *アカウントを設定*をクリックします。これにより、サブスクリプションを構成するためにNetAppコンソールにリダイレクトされます。



オファーを承諾したが登録を完了していない場合は、製品ページに戻ります。契約リストの場合は、「購入オプションを表示」をクリックしてオファーを表示し、「アカウントを設定」を選択します。

7. Sign in <https://console.netapp.com> コンソールアカウントを使用します。
8. ログイン後、<https://console.netapp.com/licenses/overview>。次のプロンプトが表示されます:
 - a. マーケットプレイス サブスクリプションの 表示名 を入力します。
 - b. サブスクリプションにアクセスできるコンソール アカウント を選択します。
 - c. [オプション] 既存のサブスクリプションの置き換え を有効にして、1つのアカウントの既存のサブスクリプションを上書きします。



- 交換は1つのコンソール アカウントにのみ適用されます。
- 複数のアカウントを同じサブスクリプションに関連付けるには、追加のアカウントを手動で構成します。
- 資格情報がサブスクリプションに関連付けられていない場合は、次のセクションの説明に従って手動で関連付けます。

9. *関連付け*をクリックし、*完了*をクリックします。



割引価格を適用するには、コンソールでサブスクリプションの割り当てを完了する必要があります。

AWS認証情報を使用してサブスクリプションを設定する

1. コンソールで、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション に移動し、マーケットプレイス サブスクリプション タブを選択します。
2. 先ほど作成したサブスクリプションを見つけます。行を展開して、コンソール アカウントに関連付けられていることを確認します。



AWS Marketplace の制限により、プライベートオファーの一部の詳細は AWS コンソールの外部には公開されません。フィールドに `N/A` AWS コンソールで直接情報を確認してください。

3. サブスクリプションの横にある 3 つのドットのメニューをクリックし、[構成] を選択します。
4. 適切な*AWS アカウント認証情報*を選択し、*構成*をクリックします。



これらの資格情報に対するマーケットプレイスの料金は、マーケットプレイスのサブスクリプションを使用して請求されます。年間契約の場合、コストは契約使用量に加算されます。

サブスクリプションに関連付けるコンソールアカウントの各 AWS 認証情報に対して、手順 1 ~ 4 を繰り返します。



- 他のコンソール組織の資格情報の場合は、[組織] ドロップダウンを使用して手順を繰り返します。
- 他のエージェントの資格情報については、[エージェント] ドロップダウンを使用して手順を繰り返します。

NetAppコンソールの Azure プライベート オファーを承認してアクティブ化する

Azure ポータルで、NetAppコンソールの Marketplace プライベート オファーを承諾してサブスクライブします。コンソールで Azure 資格情報を構成します。

開始する前に

- NetApp の営業担当者と協力して、Azure 請求 ID のプライベート オファーを作成します。
- Azure Marketplace でプライベート オファーを受け入れるために必要なアクセス許可があります。
 - エンタープライズ契約 (EA): エンタープライズ管理者
 - Microsoft 顧客契約 (MCA): 請求先アカウント所有者 または 請求先アカウント共同作成者
- Azure Marketplace でプライベート オファーを購入し、サブスクリプションを作成するには、必要なアクセス許可が必要です。
 - 使用されている Azure サブスクリプションの サブスクリプション所有者 または サブスクリプション共同作成者
- 必要な権限を持っている場合、個人がプライベートオファーを承諾して購入することもできます。

Azure ポータルでプライベート オファーを承認してサブスクリブする

Azure サブスクリプションは、1 つの Marketplace サブスクリプションにのみ関連付けることができます。同じ Azure サブスクリプション内のワークロードに 2 つの異なる Marketplace サブスクリプションを使用する場合は、サブスクリプションごとに 1 つずつ、2 つの個別のコンソール アカウントを作成する必要があります。複数の Cloud Volumes ONTAP インスタンスがあり、異なるサブスクリプション間で課金を分割する場合は、サブスクリプションごとに個別のコンソール アカウントを作成します。

プライベートオファーを承諾して有効にするには、すべての手順を完了する必要があります。手順を省略すると、アクティベーションの問題が発生したり、二重充電が発生したりする可能性があります。



オファーの条件、価格、詳細に矛盾が見られる場合、またはどのオファーを受け入れるべきかわからない場合は、オファーを受け入れないでください。NetAppの営業チームにお問い合わせください。

オファーを複数回承諾して有効化すると、二重に請求されます。

手順

1. NetAppの営業チームから提供されたプライベート オファー リンクをクリックしてサインインします。リンクが利用できない場合は、Azure ポータルに直接サインインします。
2. Azure サービスから **Marketplace** を検索または選択します。
3. マーケットプレイス ページで、管理 セクションの プライベート オファー管理 をクリックします。
4. プライベートオファーの詳細を確認するには、[表示 + 承認]* をクリックします。
 - a. プランの詳細、期間、*価格*が正しいことを確認します。
 - b. 詳細が正しくない場合は、登録しないでください。オファーを修正するには、NetAppの営業チームにお問い合わせください。
5. 確認して、「プライベートオファーを承諾」をクリックします。
6. *購入*をクリックして購入プロセスを完了します。



*購入*ボタンが利用できない場合は、必要な購入権限があることを確認してください。そうでない場合は、購入ウィンドウのリンクをコピーして、組織内の承認されたユーザーと共有してください。

7. 購入ワークフローでは、次のようになります。
 - a. 使用する*Azure サブスクリプション*を選択します。
 - b. サブスクリプションが作成される*リソース グループ*を選択します。
 - c. 新しいサブスクリプションの*名前*を入力します。
8. 必要に応じて、タグ (製品、サイトの場所、ワークロード定義、または命名規則) を設定します。
9. *確認して登録*をクリックし、詳細を確認してから*登録*をクリックします。
10. サブスクリプションが正常に作成されたら、「今すぐアカウントを構成」をクリックします。これにより、NetAppコンソールにリダイレクトされ、構成が完了します。



Azure 側の自動化は完了するまでに 30 秒から 5 分かかる場合があります。今すぐアカウントを構成する をクリックする前にページが閉じられていた場合は、Azure ポータルサービスに戻ります。サブスクリプションは「保留中の構成」として表示されます。選択して設定を続行します。

11. リダイレクトされます <https://console.netapp.com> サインインを求められます。
12. ログイン後、次のページにリダイレクトされます。 <https://console.netapp.com/licenses/overview> 。次のプロンプトが表示されます:
 - a. マーケットプレイス サブスクリプションの 表示名 を入力します。
 - b. このサブスクリプションにアクセスできるコンソール アカウント を選択します。
 - c. オプションで、既存のサブスクリプションの置き換え を有効にして、1 つのコンソール アカウント内の既存のマーケットプレイス サブスクリプションを自動的に置き換えることができます。



- ・ この置換オプションは、単一のコンソール アカウントに制限されます。
- ・ 複数のコンソール アカウントを同じマーケットプレイス サブスクリプションに関連付けるには、追加のアカウントを手動で構成します。

13. *関連付け*をクリックし、*完了*をクリックします。



購入を有効にして割引価格を適用するには、コンソールでサブスクリプションの割り当てを完了する必要があります。

Azure 資格情報を使用してサブスクリプションを構成する

1. コンソールで、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション に移動し、マーケットプレイス サブスクリプション タブを選択します。
2. サブスクリプションの詳細を検証します。
 - a. 作成したマーケットプレイスサブスクリプションを見つけます。
 - b. 行を展開して詳細を確認し、サブスクリプションがコンソール アカウントに関連付けられていることを確認します。
3. サブスクリプションの横にある*3つのドットのメニュー*をクリックし、*構成*を選択します。
4. 適切な*Azure サブスクリプション*を選択し、*構成*をクリックします。

この Azure 資格情報に対する Marketplace 料金は、Marketplace サブスクリプションを通じて請求されるようになりました。年間契約の場合、この資格情報の使用は年間契約にカウントされます。

サブスクリプションに関連付けるコンソール アカウントの各 Azure 資格情報に対して、手順 1 ~ 4 を繰り返します。



- ・ 別のコンソール組織の資格情報を関連付けるには、[組織] ドロップダウンを使用して組織を切り替え、手順を繰り返します。
- ・ 別のエージェントの資格情報を関連付けるには、[エージェント] ドロップダウンを使用して切り替え、手順を繰り返します。

NetAppコンソールの Google Cloud プライベート オファーを承認して構成する

Google Cloud コンソールのNetAppコンソール リストに対する Marketplace のプライベート オファーを承認します。コンソールで Google Cloud 認証情報を設定します。

開始する前に

- NetApp の営業担当者と協力してプライベート オファーを作成します。営業チームがオファー リnkを提供する必要があります。
- 請求先アカウントは無料トライアル中であってはなりません。無料トライアルアカウントではプライベート オファーを受け入れることはできません。試用版の請求アカウントを使用しようとすると、エラーが発生し、NetAppクラウド チームからのサポートが必要になります。
- オファーを承諾するには、次の Google Cloud 権限が必要です。
 - `roles/billing.admin` 対象となる Cloud Billing アカウントまたは Google Cloud 組織向け
 - `roles/viewer` Cloud Billing アカウントに請求されるプロジェクトの

Google Cloud でプライベート オファーを承諾する

Google Cloud プロジェクトは、1 つの Marketplace サブスクリプションにのみ関連付けることができます。同じ Google Cloud プロジェクト内のワークロードに 2 つの異なるサブスクリプションを使用する場合は、サブスクリプションごとに 1 つずつ、2 つの個別のコンソール アカウントを作成する必要があります。



プライベートオファーを有効にするには、すべての手順を完了する必要があります。手順を省略すると、二重請求などの問題が発生する可能性があります。

オファーの条件、価格、詳細に矛盾が見られる場合、またはどのオファーを受け入れるべきかわからない場合は、オファーを受け入れないでください。詳細については、NetAppアカウントチームにお問い合わせください。



すでにアクティブな PAYGO サブスクリプションまたは修正されたプライベート オファーがある場合は、承認手順を実行するだけで済みます。このような場合、マーケットプレイスは同じリスト内のプランを更新し、同じサブスクリプション ID を保持するため、コンソールのサブスクリプションの関連付けはそのまま維持されます。

手順

1. NetApp の営業チームから提供されたプライベート オファーのアクティベーション リnkをクリックします。リnkは次のようになります。
<https://console.cloud.google.com/marketplace/private-offers/aaaaaaaa-bbbb-cccc-dddd-eeeeeeeeeeee>
2. Google Cloud Marketplace にリダイレクトされ、オファーの詳細を確認できます。
 - a. 請求先アカウント
 - b. 製品: NetAppコンソール
 - c. オファーの詳細
 - d. 価格



プランの詳細、期間、価格を慎重に確認してください。何か誤りがある場合は、オファーを受け入れないでください。修正については、NetAppアカウント チームにお問い合わせください。

3. 情報が正確であることを確認し、利用規約に同意して、[同意する] をクリックします。
4. サブスクリプションの作成中は、読み込みアイコンが表示されます。
5. サブスクリプションが正常に作成されると、ポップアップ ウィンドウが表示されます: 注文リクエストが**NetApp, Inc.** に送信されました。
6. **NETAPP, Inc.** に登録 をクリックします。サブスクリプションの設定を完了するために、NetAppコンソールにリダイレクトされます。プライベートオファーが組織内の別のユーザーによって承認された場合:
 - a. Google Cloud Marketplace で、[注文] に移動します。
 - b. ステータスが 保留中 のオファーを見つけます。
 - c. 3 つのドットのメニューをクリックし、**NetApp, Inc.** に登録 を選択します。
7. リダイレクトされます `https://console.netapp.com` サインインを求められます。
8. ログイン後、次のページにリダイレクトされます。 <https://console.netapp.com/licenses/overview>。次の操作を行う必要があるポップアップが表示されます。
 - a. **SaaS** マーケットプレイス サブスクリプション の表示名を入力します。
 - b. サブスクリプションへのアクセス権を持つコンソール アカウント を選択します。
 - c. オプションで、1 つのコンソール アカウント内の既存の Marketplace サブスクリプションを自動的に置き換える場合は、既存のサブスクリプションを置き換える を有効にできます。



- この置換オプションは、単一のコンソール アカウントに制限されます。
- 複数のコンソール アカウントを同じ Marketplace サブスクリプションに関連付ける必要がある場合は、追加のアカウントを手動で構成する必要があります。

9. 関連付け をクリックし、完了 をクリックします。

サブスクリプションを **Google Cloud** 認証情報に関連付ける

1. コンソールで、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション に移動し、**Marketplace** サブスクリプション タブを選択します。
2. サブスクリプションの詳細を検証します。
 - a. 承認プロセスで作成されたサブスクリプションを見つけます。
 - b. 正しいプランが表示されていることを確認します。
 - c. 行を展開して、プライベート オファーの関連付けを確認します。



Google Cloud Marketplaceの制限により、一部のフィールドには N/A。この情報は Google Cloud コンソールでのみ利用できます。

1. [オプション] サブスクリプションの名前を変更するには:
 - a. サブスクリプションの横にある**3** つのドットのメニューをクリックします。

- b. サブスクリプションの名前を変更 を選択します。
2. もう一度**3**つのドットのメニューをクリックし、構成 を選択します。
3. 適切な Google Cloud アカウントの 認証情報 を選択し、[構成] をクリックします。

この Google Cloud 認証情報に対する Marketplace の料金は、Marketplace サブスクリプションを通じて請求されるようになりました。年間契約の場合、この資格情報の使用は年間契約にカウントされます。

Marketplace サブスクリプションに関連付ける Console アカウント内の Google Cloud 認証情報ごとに、手順 1~5 を繰り返します。



- 別のコンソール アカウントの資格情報を関連付けるには、[アカウント] ドロップダウンを使用してアカウントを切り替え、手順を繰り返します。
- 別のエージェントの資格情報を関連付けるには、[エージェント] ドロップダウンを使用して手順を繰り返します。

Google Cloud の使用状況を表示する

Google Cloud のクレジット ステータスと使用状況を表示するには:

1. Google Cloud コンソールで、**Cloud Marketplace** に移動します。
2. [ご注文] をクリックします。
3. [請求先アカウントの選択] ドロップダウンから、プライベート オファーに関連付けられている請求先アカウントを選択します。
4. 表でプライベートオファーを見つけ、**3**つのドットのメニュー をクリックして、[クレジットを表示] を選択します。

PAYGOサブスクリプションと契約を管理する

クラウド プロバイダーのマーケットプレイスからNetAppデータ サービス (Cloud Volumes ONTAPを含む) をサブスクライブすると、コンソールの Web サイトにリダイレクトされ、そこでサブスクリプションを保存してコンソール組織に関連付けます。サブスクライブすると、各サブスクリプションをコンソールで管理できるようになります。

- ["NetAppデータ サービス \(標準モード\) をサブスクライブする方法を学びます"](#)
- ["NetAppデータ サービス \(制限モード\) をサブスクライブする方法を学びます"](#)



マーケットプレイス サブスクリプション ページにはすべてのライセンスがリストされます。特定のデータ サービスのライセンスの詳細については、概要 ダッシュボードのデータ サービス タイルを使用します。"[概要ダッシュボードの詳細](#)"。

新しいマーケットプレイスサブスクリプションを追加する

コンソールから直接マーケットプレイス サブスクリプションをサブスクライブできます。

AWS

次のビデオは、AWS Marketplace からNetAppコンソールをサブスクライブする手順を示しています。

[AWS MarketplaceからNetAppコンソールをサブスクライブする](#)

Azure

次のビデオでは、Azure Marketplace からNetAppコンソールをサブスクライブする手順を示します。

[Azure Marketplace からNetAppコンソールをサブスクライブする](#)

Google Cloud

次の動画では、Google Cloud Marketplace からNetAppコンソールをサブスクライブする手順を示します。

[Google Cloud Marketplace からNetAppコンソールをサブスクライブする](#)

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。
3. サブスクリプション テーブルの上にある サブスクリプションの追加 を選択します。
4. 「サブスクリプションの追加」ダイアログで、クラウド プロバイダーを選択します。
 - a. AWS サブスクリプションを選択する場合は、年間契約か PAYGO サブスクリプションかを選択します。
5. *サブスクリプションの追加*を選択してプロバイダーのマーケットプレイスに移動し、提供されている手順を完了します。
6. クラウド プロバイダー マーケットプレイスでの作業が完了したら、コンソールに戻ってプロセスを完了します。

サブスクリプションを表示する

コンソール組織またはアカウントに関連付けられている各 PAYGO サブスクリプションと年間契約の詳細を表示できます。

Google Cloud では、プライベート オファーに関連付けられたマーケットプレイスのサブスクリプションを識別することもできます。これにより、オファーを正常に受け入れたことを確認できます。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。

現在表示している組織に関連付けられているサブスクリプションのみが表示されます。

3. サブスクリプション情報を表示するときに、次のようにテーブルの詳細を操作できます。
 - 高度な検索とフィルタリングを使用して、テーブルに表示されるサブスクリプションを決定します。特定のサブスクリプション名で検索したり、タイプや構成などのさまざまなサブスクリプション パラ

メータでフィルターしたりできます。

- 詳細を表示するには行を展開します。
- 選択  テーブルに表示する列を選択します。

期間と自動更新の列はデフォルトでは表示されません。「自動更新」列には、Azure 契約の更新情報のみが表示されます。

テーブル情報については、次の点に注意してください。

開始日

開始日は、サブスクリプションがアカウントに正常に関連付けられ、課金が開始された日です。

該当なし

表に N/A と表示されている場合、その情報は現在クラウド プロバイダーの API から入手できません。

期間

Google Cloud サブスクリプションが、作成および承認後に変更されたプライベート オファーに関連付けられている場合、用語には N/A と表示されます。このシナリオでは、Google Cloud Marketplace からの API レスポンスに用語関連の情報は含まれません。

契約

- 契約の詳細を展開すると、コンソールに現在のプランで利用可能な契約オプションと単位 (容量またはノード数) が表示されます。
- コンソールは、終了日と、契約がまもなく更新されるか、まもなく終了するか、すでに終了しているかを識別します。
- AWS 契約があり、開始日後に契約オプションを変更した場合は、AWS Marketplace から契約オプションを検証してください。
- Google Cloud プライベート オファーをお持ちの場合は、契約オプションは利用できません。

サブスクリプションの名前を変更する

組織でサブスクリプションをどのように使用しているかをより適切に識別できるように、サブスクリプションの名前を変更できます。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。
3. 管理するサブスクリプションに対応する行のアクション メニューを選択し、[名前の変更] を選択します。

プロバイダー資格情報を使用してサブスクリプションを構成する

通常、サブスクリプションは、サブスクライブ時に作成したプロバイダー資格情報を使用して構成されます。場合によっては、課金方法を変更するために、別の資格情報を使用するようにサブスクリプションを再構成する必要があります。サブスクリプションに関連付ける資格情報は、エージェントにも関連付ける必要があります。

資格情報の形式は、使用しているマーケットプレイスによって異なります。たとえば、Azure マーケットプレイス サブスクリプションは Azure サブスクリプション名に関連付けられていますが、AWS マーケットプレイス サブスクリプションでは AWS アカウント ID が使用されます。利用可能な資格情報のリストは、「資格情報」ページから確認できます。

サブスクリプションを解除した場合、「構成」オプションはグレー表示されます。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。
3. 設定するサブスクリプションに対応する行のアクション メニューを選択し、[設定] を選択します。
4. [構成] ダイアログで、サブスクリプションで構成する資格情報を選択します。現在選択されているエージェントに関連付けられている資格情報からのみ選択できます。使用したい資格情報が表示されない場合は、別のエージェント ビューに切り替えてみてください。

サブスクリプションをコンソール組織に関連付ける

サブスクリプションを組織に関連付けると、その組織のメンバーがそのサブスクリプションを課金に使用できるようになります。

サブスクリプションの使用を特定の組織に制限したり、複数の組織間でサブスクリプションを共有したりできます。

サブスクリプションを組織に関連付けるには、組織管理者のロールが必要です。



コンソールは、組織を使用してユーザーとリソースを管理する、標準モードの Identity and Access Management (IAM) をサポートしています。コンソールをプライベート モードまたは制限モードで使用している場合は、コンソール アカウント を使用して、サブスクリプションなどのユーザーとリソースを管理します。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。
3. 関連付けるサブスクリプションの行で、アクション メニューを開き、[関連付け] を選択します。
4. *サブスクリプションの関連付け*ダイアログで、サブスクリプションに関連付ける 1 つ以上の組織を選択します。
5. *関連付け*を選択します。

サブスクリプションに関連付けられた資格情報を表示する

Marketplace サブスクリプション ページから特定のサブスクリプションの資格情報を表示できます。これにより、サブスクリプションの課金方法を確認できます。資格情報は使用しているエージェントに関連付けられているため、表示するサブスクリプションに関連付けられているエージェントを選択する必要があります。



必要に応じて、上部のナビゲーション バーにあるエージェント ドロップダウンを使用してエージェントを切り替えます。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。
3. 資格情報を表示するサブスクリプションが含まれている行で、[表示] を選択します。サブスクリプションに複数の資格情報が関連付けられている場合は、資格情報が表示されず、別のエージェントを選択するように指示される場合があります。

サブスクリプションの設定を解除する

サブスクリプションを削除する前に、サブスクリプションを構成解除する必要があります。これにより、関連するすべてのデータと設定がクリアされます。

手順

1. NetAppコンソール メニューで、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。
3. 構成を解除するサブスクリプションの行で、アクション メニューをクリックし、[構成解除] を選択します。
4. 指示に従って、関連する設定やデータを削除またはリセットします。
5. ステータスが「未構成」に更新されるまで待ちます。

サブスクリプションを削除する

クラウド プロバイダー (AWS、Google Cloud、または Azure) のサブスクリプションを解除すると、コンソールにサブスクリプションのステータスが **Unsubscribed** と表示されます。

*登録解除済み*のサブスクリプションをコンソールから削除して、表示されなくすることができます。



削除できるのは、「登録解除済み」かつ「未構成」のサブスクリプションのみです。削除する前に、関連するすべての設定、データ、および構成をクリアまたはリセットする必要があります。

サブスクリプションがまだ構成されている場合、[削除] オプションは表示されません。オプションを使用できるようにするには、関連付けられている設定、サービス、またはデータをすべてクリアしてサブスクリプションを構成解除します。

手順

1. NetAppコンソール メニューで、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. *マーケットプレイス サブスクリプション*を選択します。
3. 削除するサブスクリプションの行で、アクション メニューを開き、[削除] を選択します。

削除できるのは、ステータスが **Unsubscribed** および **Unconfigured** のサブスクリプションのみです。

4. *サブスクリプションの削除*ダイアログで、サブスクリプションを削除することを確認します。

Keystoneサブスクリプションを管理する

Cloud Volumes ONTAPで使用するサブスクリプションを有効にし、サブスクリプションのサービス レベルのコミット済み容量の変更を要求することで、NetAppコンソールでKeystoneサブスクリプションを管理します。サービス レベルの追加容量を要求すると、Cloud Volumes ONTAPシステムにさらに多くのストレージが提供されます。

NetApp Keystone は、CapEx やリースよりも OpEx を好む顧客にハイブリッド クラウド エクスペリエンスを提供する、成長に合わせて拡張できる柔軟なサブスクリプションベースのサービスです。

["Keystoneについて詳しくはこちら"](#)

アカウントを承認する

コンソールでKeystoneサブスクリプションを使用および管理する前に、NetAppに連絡して、コンソール アカウントにKeystoneサブスクリプションを承認してもらう必要があります。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. * Keystoneサブスクリプション* を選択します。
3. **Welcome to NetApp Keystone** ページが表示された場合は、ページに記載されているアドレスに電子メールを送信します。

NetApp の担当者が、お客様のアカウントにサブスクリプションへのアクセスを許可して、お客様のリクエストを処理します。

4. サブスクリプションを表示するには、* Keystoneサブスクリプション* タブに戻ってください。

サブスクリプションをリンクする

NetApp がアカウントを承認すると、KeystoneサブスクリプションをCloud Volumes ONTAPで使用するためにリンクできるようになります。このアクションにより、ユーザーは新しいCloud Volumes ONTAPシステムの課金方法としてサブスクリプションを選択できるようになります。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. * Keystoneサブスクリプション* を選択します。
3. リンクしたいサブスクリプションについては、... *リンク*を選択します。

結果

サブスクリプションはコンソール組織またはアカウントにリンクされ、Cloud Volumes ONTAP作業環境を作成するときに選択できるようになります。

コミットされた容量の増減を要求する

サブスクリプションのサービス レベルのコミット済み容量を変更する場合は、コンソールから直接NetAppにリクエストを送信できます。サービス レベルの追加容量を要求すると、Cloud Volumes ONTAPシステムにさ

らに多くのストレージが提供されます。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. * Keystoneサブスクリプション* を選択します。
3. 容量を調整するサブスクリプションについては、... [詳細を表示して編集]を選択します。
4. 1 つ以上のサブスクリプションに対して要求されたコミット容量を入力します。
5. 下にスクロールして、リクエストの追加詳細を入力し、[送信] をクリックします。

結果

リクエストにより、NetApp のシステムに処理用のチケットが作成されます。

使用状況を監視する

Digital Advisorダッシュボードを使用すると、Keystoneサブスクリプションの使用状況を監視し、レポートを生成できます。

["サブスクリプションの使用状況の監視について詳しくは、こちらをご覧ください。"](#)

サブスクリプションのリンクを解除する

コンソールでKeystoneサブスクリプションを使用しなくなった場合は、サブスクリプションのリンクを解除できます。既存のCloud Volumes ONTAPサブスクリプションに接続されていないサブスクリプションのみをリンク解除できることに注意してください。

手順

1. NetAppコンソール メニューから、ガバナンス > ライセンスとサブスクリプション を選択します。
2. * Keystone*を選択します。
3. リンクを解除したいサブスクリプションについては、... *リンク解除*を選択します。

結果

サブスクリプションはコンソール組織またはアカウントからリンク解除され、Cloud Volumes ONTAP作業環境を作成するときに選択できなくなります。

知識とサポート

サポートに登録する

NetAppコンソールとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetAppコンソール アカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられた Cloud Volumes ONTAP シリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時に NetAppコンソールによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従って NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetAppコンソールを登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetAppコンソール アカウントの 1 人のユーザーが NetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちの NetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報* を選択します。
2. *ユーザー 資格情報* を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインに NetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だがNSSアカウントがない

既存のライセンスとシリアル番号を持ち、NSS アカウントを持っていない場合、既存のNetApp顧客は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

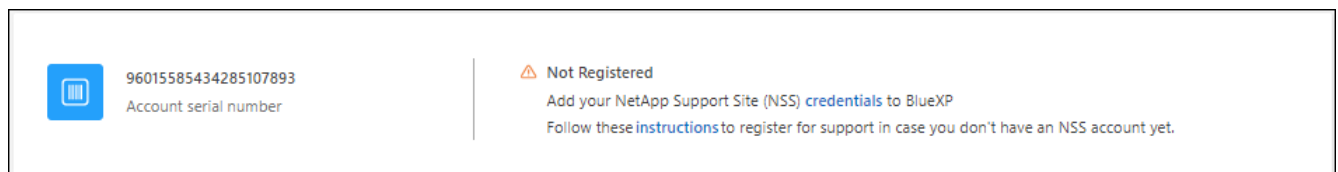
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みのNetApp顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの 1 回限りのオンボーディ

ング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL（個人ライセンス使用）時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

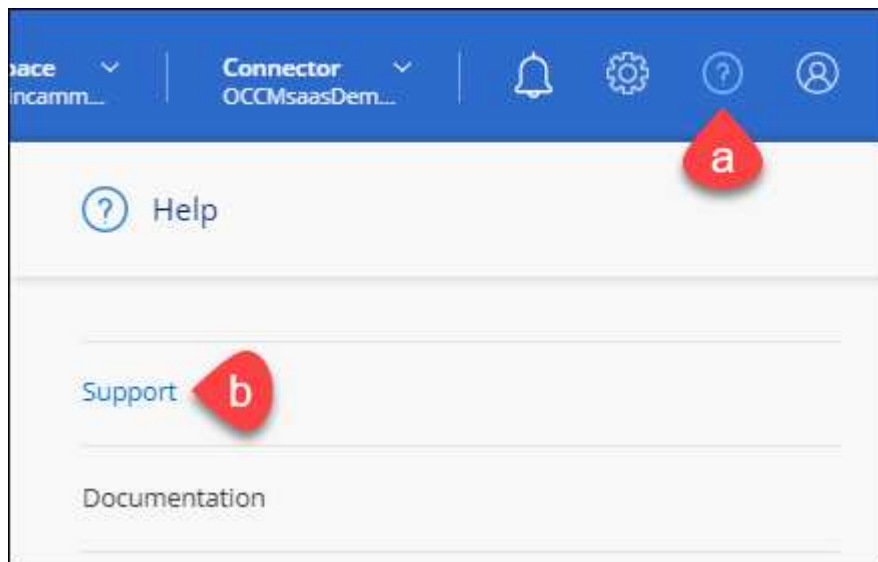
NSS 資格情報をNetAppコンソール アカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS 管理** からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときにパートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetApp は、NetAppコンソールとそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、豊富な無料のセルフサポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントを参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)

- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

NetAppとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示しているNetAppコンソールのドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

NetAppナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

NetAppコンソール コミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- *ケースの作成*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をコンソール ログインに関連付ける必要があります。 ["コンソールログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. NetAppコンソールで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *リソース*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
 - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
 - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、* NetAppコンソール* は、コンソール内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合です。
 - システム: ストレージに該当する場合は、* Cloud Volumes ONTAP* または **On-Prem** を選択し、関連する作業環境を選択します。

システムのリストは、コンソール組織と、上部のバナーで選択したコンソール エージェントの範囲内にあります。

- ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。

- 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細な説明を入力します。
- 追加のメールアドレス: この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に 1 つずつ、最大 5 つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

The screenshot shows a web form titled "ntapitdemo" and "NetApp Support Site Account". It contains several sections: "Service" and "Working Enviroment" (note the typo) each with a "Select" dropdown menu; "Case Priority" with a dropdown menu showing "Low - General guidance" and an information icon; "Issue Description" with a large text area containing the placeholder "Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken."; "Additional Email Addresses (Optional)" with a text input field labeled "Type here" and an information icon; and "Attachment (Optional)" with a file selection area showing "No files selected", an "Upload" button with an upward arrow icon, and a trash icon.

終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウントとそれに関連付けられているレコード会社が、NetAppコンソール アカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースを管理する

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

手順

1. NetAppコンソールで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *ケース管理*を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、コンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
 - *組織のケース*の下で*表示*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
 - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。
 - 列の内容をフィルタリングします。

- 。 表に表示される列を変更するには、次に、表示する列を選択します。

4. 既存のケースを管理するには、利用可能なオプションのいずれかを選択します。

- 。 ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
- 。 ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード*を選択して最大5つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- 。 ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["BlueXPに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。